

埼玉大学経済学部同窓会

# 経和会会報

第 10 号

2007年5月20日発行

発行 埼玉大学経済学部同窓会  
経和会会長 内藤 勝久  
編集 経和会副会長 中村 直行  
さいたま市桜区下大久保 255 番地  
TEL 048-858-3283

## 新しい酒は 新しい皮袋に

会長 内藤 勝久



地球温暖化やらで暖冬が続き、早くも夏の冷夏、水不足が心配されていますが、皆様にはお変わりなくご活躍のことと拝察申し上げます。平素は経和会の活動にご協力いただき心より御礼申し上げます。

さて母校も独立行政法人として三年が経過し、学歌制定をはじめとして新しい埼玉大学づくりが進んでいます。昨年の八月には環境教育の準備として二泊三日の集中講義スポーツ実技「森林トレッキング」(必修)が実施され、一六名が参加して水源の森林の多面的機能や山村の歴史、山の恵みについて学びました。農学部を持たない大学がこのような授業を開講するのは全国的に見ても珍しいようです。新年度からは環境教育が正式に発足することになっています。スポーツでは女子柔道の池田ひとみさんは東アジア大会の七八kg級のチャンピオン、女子剣道は全日本学生剣道優勝大会で初優勝の快挙。会員の活躍も目覚ましいものがあります。田坂副会長(二〇回生)が三井住友海上より大学に入学し、「大学発展基金」の募金や広報活動、就職支援活動を推進。埼玉りそな銀行から出向の持田健生(二二回生)は大学と浦和レッズおよび大宮アルディージャとの提携を成功させています。卒業生の筆頭は一回生の池田典義。

一部上場のkkアイネットを創業し現在会長。横浜商工会議所の重鎮でもある。若手ナンバーワンは五五回生の西本千尋。kkジャパンエリアマネジメントを卒業と同時に立ち上げ、社長として街おこしに奔走。昨年一月二三日の埼玉新聞に知事との対談記事が見開き二ページに掲載。理事の紅一点藤田裕美(三九回生)は理事の今野耕作特任教授(一一回生)が練り上げた授業の講師も務める。今年から経和会だよりのスタッフに加わった三人の大学三年生(若井田義高、豊島真志、吉田達文)と若手のOB三人(清原誠・二二回生、千葉健・三四回生、古屋久昭・三四回生)が担当の中村副会長(二六回生)栗原常務理事(一一回生)のリードよろしきをえて活躍。今後の若手の中心となる優秀な人材。新しい酒があちこちで蔵出しの時を待っている。経和会の黄金期が間もなく始まろうとしている。

ところで経和会の活性化は今亡き田中一盛学部長との出会いから始まった。「開学五〇周年を契機に経済学部を活性化したいので同窓会の協力をお願いしたい。ついでに同窓会名簿を作成してほしい」との要請に「はい判りました」。今でもはつきり覚えているのは平成六年六月六日付の学部長からいただいた名簿作成の確認の書状である。それからの苦労は中村副会長がよく知っている。彼は次号の制作に携わった。同窓会名簿は経済学部ばかりでなく経和会の活性化もたらしてくれたい。しかし時代はめまぐるしく変わっている。新しい手を次々と打っていかねば会員からもそっぽを向かれてしまう。新しい皮袋もそろそろ用意しなければいけないようだ。

## 大学歌制定される

埼玉大学には一九四九年の開学以来、長いあいだ大学歌というものが存在しなかった。そして開学から五七年を迎えた昨年一〇月について大学歌が誕生し、二〇〇七年一月二四日に「埼玉大学大学歌制定式典」が行われた。この大学歌は、まず歌詞を広く一般から募り、それらの中から優秀なものを審査して決定した後、その詩にあわせて新しい歌曲を同じく一般公募の中から選出するという形で完成した。この大学歌は埼玉のシンボルとなるべく、その詞では「埼玉の自然」が、曲では「大学の品格」が表現されているという。

大学歌はまだ誕生したばかりである。今はまだ作詞者、作曲者の方がそれぞれ定められた意味を持つだけである。もちろんそれらの意味は大事なものだ。だが、それだけではほんものの「大学歌」とは言えないだろう。折角できたこの若い、素晴らしい大学歌をただの

埼玉大学大学歌

詞：遠山 豊  
曲：遠山 豊

maestoso

こころをこめて さいたまの自然を 愛する心で  
まなびの園を 育み育て 未来を  
つくりだす たくましく たくましく  
たくましく たくましく たくましく

こころをこめて さいたまの自然を 愛する心で  
まなびの園を 育み育て 未来を  
つくりだす たくましく たくましく  
たくましく たくましく たくましく

こころをこめて さいたまの自然を 愛する心で  
まなびの園を 育み育て 未来を  
つくりだす たくましく たくましく  
たくましく たくましく たくましく

詳しくはURL (<http://www.saitama-u.ac.jp/koho/info/news/daigakka-m.pdf>)をご参照ください。

### 平成19年度 経和会総会の案内

- 一日時 平成19年7月14日(土) 総会・講演会 13時(受付開始12時30分) 懇親会 15時30分～17時30分
- 二場所 新宿・野村ビル48階 野村コンファレンスプラザ 東京都新宿区西新宿 1丁目26番2号 03(3348)6513 <http://www.nc-plaza.com>
- 三講演 「アナウンサー37年をふりかえる」 講師 宮田 修 (NHKアナウンサー・S45年本学卒)
- 四懇親会会費 八、〇〇〇円 (経済学部学生・院生は無料)
- 五交通 ●JR・小田急線・京王線、「新宿駅」より徒歩6分 ●地下鉄丸の内線「西新宿駅」より徒歩4分
- 六出欠連絡 6月25日(月)までに同封はがきにてお申し込みください。

### 経和会ホームページのお知らせ

#### 一 画面へのアクセス方法

URL <http://www.keiwakai.net>  
または、yahoo等の検索サイトから「埼玉経和会」でご検索下さい。また、下記のQRコードを携帯電話のカメラにて撮影して頂ければ、ご利用できます。  
但し、機種によってはご利用できない場合もあります。

ログイン名  
会員パスワード

#### 二 次のメニューがあります

- ・会長挨拶・組織・総会・会報
- ・就職案内・オープンセミナー
- ・会員の広場・各種問い合わせ
- ・リンク(大学などのHPとリンクしています)

#### 三 会員の広場

卒業生の皆さんは会員の広場を是非活用して、会員交流の場として連絡・情報交換などにご利用下さい。

- ・クラス会・写真の広場・趣味
- ・道楽・ゼミ・サークル・慶弔連絡

などのジャンルに分かれています。入力画面がありますので、どなたでもご自由にご利用出来ます。

※経和会では、これからホームページを頻りに更新させて頂きます。そこで、学生、卒業生の皆さんと共に刷新させて頂きたいと考えております。また、記事掲載のご要望等があれば、下記メールアドレスまでご連絡下さい。

経和会メールアドレス  
[webmanager@keiwakai.net](mailto:webmanager@keiwakai.net)

社会人教育

集中講義スポーツ実技

「森林トレッキング」― 特任教授 内藤 勝久

六年ほど前から単位制の植林授業を大学に要望してきた。「百年の森づくり」運動を通じて知った水源の森林の多面的な機能(国土や景観の保持・形成 水と空気の供給、地球温暖化の防止 動植物の生態系の維持など)を体で学んでもらうと同時に農学部を持たない埼玉大学の特異な取り組みを広報することによって埼玉大学の知名度を上げる一石二鳥の効果も期待できると考えたからだ。昨年の八月一日から一三日まで二泊三日の日程で集中講義が「埼玉の母なる川」荒川の源流中津川を中心に行なわれ、全学部から一六名の学生が参加した。夜間主の社会人も四名参加していた。彼らには履修が難しい必修のスポーツ実技の単位が一単位取得できるというメリットも魅力であった。三日間の活動日誌や授業に取り組み姿勢とレポートによって評価されたが、一人の脱落者もなく好評をえて無事に授業が終了した。実はこの授業を開設するためのコマがなく実現が延び延びになっていたが、スポーツ実技担当の教官が退官して後任が出なかつたため標記のような講義名となった。しかし「環境教育序論」というコンセプトで授



業を組み立てたため趣旨は十分に理解された。この授業は「百年の森づくりの会」の役員と会員および地元協力者九名によって運営されたが「このような部外者を中心とした授業ははじめて」と責任者の野澤教授からも賞賛された。今回の授業の成果を踏まえ新年度からは「環境教育」が始まるという。

三月初旬に経済学部の優秀論文の結果が発表された。三学科とも受賞者があり、論文内容の質の高さと共に、学科の質の高さを示す結果となった。受賞者は学生最後の時期に勉学で表彰されるという栄誉を得たことに社会人になっても大きな自信となることであろう。

ところで、中国からの留学生の黄さんが受賞したこともその努力も高め高く評価したい。しかし、今年も昨年と異なり女子学生に賞をすべて独占された。来年は男子学生の奮起に期待したい。受賞者とテーマは左記の通り。

第2回優秀論文表彰

最優秀論文(経済学会賞)

中野 裕子 「住民訴訟における行政統制の役割 ―いわゆる違法性の承継をめぐる―」

優秀論文(経和会長賞)

深坂 祐希 「市町村合併をしなかった自治体」

黄 ジョン 「『リッチ』を売るマーケティング ―中国進出を支える資生堂の企業文化―」

鈴木 依子 「コミュニティバスの問題の実態とその解明 ―羽生市内循環バスを例に、『市民に利用されるコミュニティバス』のかたちを探る―」

昨年度の就職支援活動について

参事役・就職相談員 田坂 敏幸

昨年は漸く就職戦線に明るさが戻ってきましたが経和会の就職相談員が中心となって全学の就職支援活動に取り組みました。また、業界研究・企業研究では各回ごと経和会のメンバーに参加いただきました。ご参加いただきました方々にここに改めて御礼申し上げます。

一、就職相談員を二名から四名に増員し、就職相談の機会を増やした。二、九月末に文系理系別就職総合セミナーを開催し就活モードを高めた。七七八名の参加があった。三、業界研究・企業研究セミナーを一〇回シリーズで開催した。多くの経和会メンバーに毎回のよう

にゲストスピーカーとして業界・企業の特徴を話していただいた。学生には大好評であった。四、一二月にはあらゆる業界から一流企業七〇社を選び、会社説明会を学内で開いた。

昨今の学生は就職活動に自信がなく、なんとなく中小の企業を選ぶ風潮がある。そこで学生に自信を持って企業選びをしてもらうようにと企業選

びに工夫を凝らし、都市銀行やトヨタ、日本航空、キャノンなどの一流企業を招いて実施した。学生の評判も高かった。

五、一月三日のむつめ祭の初日に、三年次と大学院一年次の保護者を大学に招いて就職懇談会を開催した。約五〇〇名の保護者が参加し、熱心に就活の話に耳を傾けられ、懇談会終了後も個別面談を行い就職相談員や学部の進路指導の教員が対応を行った。多くの保護者が満足して帰られた。

最後に三年次、大学院一年次の学生の皆さん!今年も大学では経和会の就職相談員と学生支援課が一緒になって様々な就職支援セミナーを開催しますのでご期待ください。

卒業生の主な就職先一覧(過去3ヶ年)

【公務員関係】 内閣府 財務省関東財務局 厚労省関東東越厚生局 法務省矯正局 埼玉県庁 埼玉県警 東京都庁 警視庁 その他県庁 市役所・区役所 日本郵政公社 国際協力事業団 社会保険庁 東京税関 東京国税局 会計検査院 【その他】 監査法人・会計事務所 行政書士事務所 野村総研 船井総研 帝国データバンク 川口商工会議所

富士ゼロックス埼玉 大塚商会 長崎屋 【不動産・不動産販売】 野村不動産 平和不動産 住友不動産販売 積水ハウス レオパレス21 大東建託 東京建物不動産販売 【カード・リース】 ORIX 住商リース 三井住友銀リース JCB 【サービス業】 近畿日本ツーリスト HIS 日本旅行 総合警備保障 ベネッセ・コーポレーション 栄光ゼミナール ニチイ学館 ベルーナ

カルソニックカンセイ タカラスタンダード 横浜ゴム スタンレー電気 サンケン電気 カシオ計算機 芝浦電子 東洋インキ製造 日立電線 クボタ 【通信・運輸・放送】 KDDI NTT データソフィア ソフトバンク BB 佐川物流サービス 日本航空 ヤマト運輸 JR 東日本 NHK 【卸・小売・販売】 イオン イトーヨーカ堂 ローソン 西武百貨店 青山商事

野村證券 大和証券 日興コーディアル証券 UFJつばさ証券 三菱証券 【建設・製造業】 清水建設 ハザマ組 明治乳業 ライオン 日本酸素 京セラ 岡村製作所 NKK AP 塩野義製薬 小野薬品工業 科研製薬 住友電装 村田製作所 フジノン スズキ 日野自動車 関東自動車工業 ヤマハ発動機 日産車体

【金融保険証券関係】 三菱東京UFJ銀行 三井住友銀行 リソな銀行 武蔵野銀行 千葉銀行 栃木銀行 群馬銀行 住友信託銀行 商工組合中央金庫 国民生活金融公庫 中小企業金融公庫 農林中央金庫 埼玉中央信用組合 飯能信用金庫 川口信用金庫 美鴨信用金庫 三井住友海上火災 東京海上日動火災 損保ジャパン 日本興亜損保 日本生命 第一生命 住友生命 三井生命

発展基金への寄付協力を

発展基金室事務局長 田坂 敏幸

埼玉大学は昨年一〇月に発展基金をスタートさせました。平成一六年に大学法人になり、大学が直接基金活動を行うことが出来るようになりました。この基金を活用して大学では教育、研究や地域貢献にと有意義に活用して今世紀に大活躍を願う埼玉大学らしさを希求していきます。たとえば優秀な学生に生活費を補助する奨学金を支給したり、卒業生の皆さんを大学にお招きする「ホームカミング・デー」を今秋開催する予定です。

生にとっても誇りとなる大学になっていただきたいとの熱き思いと同窓会活動の発展・充実を願い、同窓会連合会および各学部同窓会と協働して卒業生の皆さんへパンフレットをお送りいたしました。お陰様で多くの方々から寄付をいただき、紙面を借りて御礼申し上げます。寄付された方の氏名は発展基金のホームページに掲載しておりますのでご確認ください。

全体目標五億円達成にはこれから大変です。大学では同窓会に半分

ています。卒業生数からすると経和会では五〇〇万円を集めなければなりません。今後の皆さんの寄付に期待いたします。皆さんの周りにいらっしゃる企業内卒業生や同期の方々にも声をかけてください。経和会の会員の皆さん! 他の同窓会に負けず頑張りましょう。今秋予定の「ホームカミング・デー」では皆さんと一緒に祝杯を挙げようではありませんか。 また、卒業生が勤務する企業・団体や大学が共同研究や委託研究をしている企業にもお願いする予定ですので、その際は是非窓口として協力願います。

お知らせ

事務局 048-858-3894 (田坂)

1. 経和会クラブが移転しました。 交通の便がよい銀座・数寄屋橋のニュートーキョー1階の「Beer Restaurant」に移転しました。その一角が毎月第三水曜午後6時から経和会クラブの貸切りとなります。近くて旨くて安い売り物です。どうぞ、卒業生を誘ってお越しくください。 雰囲気は下記 URL でご確認ください。 千代田区有楽町2-2-3 電話 03-3572-3848 http://www.newtokyo.co.jp/honten/honten\_1/1f.htm 2. 東京ステーションカレッジが移転しました。 東京駅日本橋口にオープンした「サピア タワー35階建」の9階に新たに300平米のキャンパスが4月より開校しました。夜は経済学部大学院です。昼は今のところ空いています。昼間の活用方法につき、アイデアを募集しますので経和会事務局までご連絡ください。



# ゼミナール紹介コーナー

## 伊藤(修)ゼミナール

経済学科

私達、伊藤ゼミは現在新三年生八名、新四年生八名、合計一六名のゼミ生が所属しています。金融論・日本経済論を主とする研究テーマとし、先生が選んできたテキストを元に担当ゼミ生がレジュメを作成、論点を探し出し発表する、というゼミ形式を取っています。その後先生を交えてつゼミ生が中心となって議論します。二〇〇六年度は前期に日本経済論、後期に日本の金融制度に関するテキストを読み、二〇〇七年度前期はアメリカの金融制度に関するテキストを読み予定です。

また、毎年の九月頃に草津へ合宿を行います。主な目的は避暑地で勉強に邁進することですが、先生のご趣味でテニスなどスポーツも楽しみます。密かに新ゼミ生は必ず先生と一戦交える、という慣習もあるのかなどか。他にも、ゼミの学外活動として先生とお酒を飲みながら語り合つ、ということもあります。

先生の性格もあってか、ゼミはよい意味で緊迫感がなく自由に発言する雰囲気があります。たまに誰かが持ってきたお土産のお菓子を食べながら議論を交わす

また、「東京証券取引所へ社会科見学に行こうツアー」を予定もしています(先生、連れて行ってくださるんですね!) 私は、こんな伊藤ゼミが大好きです。(三年 菊田麻里)

## 井原ゼミナール

経営学科

私達は井原先生の下、主にマーケティングの国際比較について学んでいます。日本企業のマーケティングにはどのような特徴があり、どこまで海外での通用性を持つか、文献購読等を通して議論しています。ゼミ生の自発的な発言が求められる訳ですが、問題が難解になることがある事もゼミの中では多々あります。そのような時は先生が助け舟をだしてくれ、井原ゼミでは知識偏重を求められません。井原ゼミでは知識偏重を求められません。井原ゼミでは知識偏重を求められません。

私達は埼玉大学だけにこだわらず、世界のI H A R Aゼミを目指します。(二年 鈴木雅人)

## 岩見ゼミナール

社会環境設計学科

私達岩見ゼミは、「まちづくり」について勉強しています。前期のゼミの時間は、「まちづくり」について勉強し、後期のゼミの時間には、実際にある地域で計画されている「まちづくり」について考察し、その結果を住民の方々に発表します。

後期のゼミは岩見ゼミのメインイベントであり、また、とても大変な時期でもあります。自分たちでいくつかのテーマを設定し、そのテーマごとに班に分かれ、それぞれ班ごとに行動します。また、(二年 西村文男)



(写真は松本ゼミ)



経営学科

## 飛野淳さんインタビュー (経営学科・平成17年度卒 伊藤忠グループ勤務)

Q1 飛野さんの現在のお仕事を教えてください。

伊藤忠グループに勤務しています。そのなかの財経・総務部に所属しており、会社の財務や経理を任されています。最近では、大きな仕事も任されるようになり、責任とやりがいを感じています。

Q2 埼玉大学に入学したきっかけを教えてください。

高校時代の先輩が埼玉大学に進学しており「学ぶ環境がよく、日本中から学生が集まっている」というのをその先輩から伺い、興味を持ったのが志望したきっかけです。入学してみて、確かに自分の志次第で色々な勉強ができ、又、本当に地方色が豊かで…楽しかったです。



Q3 どのような大学生活でしたか?

良くも悪くも好き放題な四年間でした(笑)。夜勤のバイトをしていて、バイト帰りにそのまま授業に出たこともあったり…。サークルはスキューバダイビングクラブに所属していました。日本中の海に潜り、時には海外まで足を運んだこともありました。素晴らしい友人に出会い、やりたいことを見つけることが出来た「特別な四年間」でした。

Q4 逆に学生時代にもっとやっておけばよかったというものは?

…勉強でしょうか(笑)。埼玉大学経済学部の特徴として、他の学科の講義も受講できる点があります。例えば私は経営学科だったのですが、経済学科のミクロ・マクロ経済も学ぶことが出来ますし、社会環境設計学科の法律の講義も受講することが可能です。それらは、社会にでたときに必ず役に立ちます。それらのカリキュラムを生かしきれなかったような気がします。

Q5 就職活動はいかがでしたか?

初めての体験で、始めは不安でした。自分の考えを伝えきれないもどかしさがありましたし、途中で自分が本当にやりたいことが分からなくなった時期もありました。けれども今となっては、それらは自分を見つめ直すいい機会だったと思います。

Q6 最後にメッセージをお願いします。

大学時代ほど自分の可能性を広げられる時間は社会人にはありません。すごく貴重な時間だと思うので興味を持ったことには積極的に行動をおこして欲しいと思います。4年間は長いようでとても早く過ぎていきます。プレッシャーをかけるわけではありませんが、「これだけは誰にも負けない」と言えるくらいのことを、大学時代に身につけてください。私も経和会の一員として、会の発展や在校生の就職活動に貢献できたらと思います。——本日はありがとうございました。(聞き手 豊島真志)

## 雑感

経済学部 学部長 上井喜彦

この数年、「労働問題」に社会的関心が集まっている。雑誌「世界」も今年の三月号に「労働破壊——再生への道を求めて」という特集を組んだ。日本の経営がバラ色に描かれ、「日本に労働問題はない」という風潮が蔓延した時からすると、隔世の感がある。このような状況を反映してか、私の労働経済論を受講する学生も増加している。私としては、労働問題を学習したいという学生の増加は歓迎すべきことだろうが、手放しでは喜ばない。一つは、「労働破壊」というところまで深化して、労働問題がようやく注目されるようになったからだ。もう一つは、マスコミが創り出したキヤッチ・コピーに踊らされていると見える学生もいるからだ。ここは、学生諸君にしっかりと勉強してもらいたい。といっても、怪しい本も多いから、学生諸君はどう勉強して良いか困るかもしれない。私は現場を見つめることを勧めたい。学生諸君は大抵アルバイトをしている。アルバイト先そこは労働現場だ。また、家族の中には働いている人もいるだろう。感性を研ぎ澄まして観察すれば、問題の所在くらいは見えてくるはずだ。その問題を徹底して考えればよい。必要に迫られれば本も読むだろう。こうした学習は、学生諸君の就活にも生きてくるに違いない。

## 埼玉大学に寄せる想い

埼玉大学 参事役 持田健生

私は昭和五八年に経済学部経営学科を卒業し、二〇数年になります。地元の銀行に勤務していましたが平成一六年七月、埼玉大学への出向辞令を受け、翌七月から着任しました。当時は四月に国立大学が法人化された直後で、更に埼玉大学では群馬大学との合併問題を白紙に戻し独自路線を踏み出したばかりの時期でした。あれから三年が経ちます。その間、私は一人の民間人の眼で状況を見ながら、与えられた職務である大学改革に取り組んで参りました。Jリーグクラブや銀行との連携、今はグラウンドの一般開放事業の実現を目指し調整をしております。そんな活動の中から見える「埼玉大学」の現状と実態。良くも悪くも国立大学には長い間培われてきた積年の歴史の重みがあります。ある意味ではその現実は致し方ないことです。むしろ、重要なのはこれから埼玉大学が少子化や財政面など厳しい環境の中で、時代の流れに呼応し、危機感を持って負の部分も払拭しつつその独自性を如何に示せるか、ということだろうと思います。まだまだ法人化後、他大学も同様に苦しみ暗中模索であるが故に、今の時期は逆に抜け出るチャンスであり、やり方次第で他大学を凌駕できる時だとも思います。大学には未知の領域に一步を踏み出す勇気を持って欲しい、一人のOBとしては今後の埼玉大学発展のために微力ながら力を尽くして参りたい、そして多くのOBの皆様には是非とも多方面からの埼玉大学への強力なバックアップをお願いしたいと思います。「埼玉大学発展基金」は一番身近な方法ですのでご理解いただき、埼玉大学発展のためにご協力を宜しくお願い申し上げます。

# サークル活動の今昔

昭和49年卒 清原 誠

埼玉大学へは、昭和四五年に入学しました。

都内の普通高校より現役で合格致しましたが、高校時代より体力不足で、体重も五〇kgそこそこであり、体格にはかなりコンプレックスを持っていました。そこで、大学に入学生したら勉強よりもまず体を鍛える事を最優先に考えておりました。

最初は、野球部を見学しましたが、あまりにもきつそうな練習を拝見しすぐに断念しました。以前から体を鍛えるには、ボディービルしかないと考えており、二年先輩の高橋実先輩(当時、山口ゼミ)よりウエイトトレーニング部に入部しないかとお声を掛けて頂きました。そして、昭和四五年の四月、入学早々、ウエイトトレーニング部に入部する事になりました。

二年先輩の中島主将(田中ゼミ)、松尾先生(当時は教養学部助教)に直接、指導を受け、自分の貧弱な体が、みるみる立派な筋肉質の体に変形していく事が、嬉しくて、楽しくて今でも、大変良く覚えております。

結局、大学四年間、週三、四日は勉強そっちのけで、ただ体を鍛える事のみ集中して過ごしました。現在、



イトトレーニングの運動を継続しており、もうすぐ六〇歳になりますが、体力はまだまだ三〇、四〇歳代位の自信はあります。松尾先生も、もうすぐ八〇歳になられますが、まだまだスーパーマン並みの体格で現役バリバリで、今年の新年会でも元氣なお姿を拝見でき、大変嬉しく思いました。

埼玉大学に入学して、ウエイトトレーニング部との出会いが今の自分を作ったと信じています。

## ウエイトトレーニング部現況

ウエイトトレーニング部は、埼玉大学に何十年もある部活動である。現在の部員数は、一〇人前後で体育館横のトレーニング場を使い各々人が練習をしている。平成一八年五月二八日開催の第三回全日本学生パワーリフティング選手権大会において、女子団体で第三位に入賞し、個人成績では、男子七五kg級で各務裕貴さん(経済学部四年)、女子六〇kg超級で金銅優子さん(教育学部三年)が共に優勝した。また、金銅優子さんは女子最優秀新人に選ばれた。アットホームな環境の中で、練習が行われている。各務さんは、ウエイトトレーニング部に入った事で、良かった点をこの様に述べている。頑張った分だけ体力が付き、結果にも表れる。今後も、ウエイトトレーニング部は期待の部のひとつである。

社会人になってから、三〇年以上が経過し、そろそろ社会人も卒業する年齢になりました。埼玉大学で過ごした財産は、ウエイトトレーニング部で過ごした、春夏の合宿、東大との試合、仲間との交流、そして、それらを通じて得た自分の健康な体だと思えます。

経済学部の同期や、ゼミの仲間とはもう会う機会は無くなりましたが、部の方達とは、年一回の新年会や、松尾先生の退官パーティーや、先生中心のお祝いの席等で会合しています。特に松尾先生は、その方面では世界的に有名で、マスターズ世界選手権優勝など輝かしい経歴があり、公私共大変お世話になりました。部員の仲人は、ほとんど先生がお勤めになりました。小生は二回も御願いました。

先生が一番大切なお教えは、「人間は一定の負荷を受けないと、成長しない、苦しみからは逃げないで、むしろそれを楽しみ事と受け止める事が大事なのだ」でした。卒業した部員は社会人になってもその教えを忠実に守って、それぞれ各方面で大活躍をされ、著名人も多くおります。私は、社会人になってからもウエ



# 会員の声

期会を開催している。

その時だけは皆がタイムスリップして、学生時代に戻る居心地のよい瞬間だ。

卒業生の皆さん！同期会を開こうではありませんか。

昭和47年卒 田村 勲

私は協和銀行(現りそな)へ入社後三年前にエース(食品小売)へ転職しました。経済学部の友人とは今も旧き良き大学時代の話に花を咲かせてます。

経和会がますます発展されることを期待しています。

昭和57年卒 栗田 佳敬

マスコミに身を投じ三五年、がむしゃらに仕事をしてきたが、ここにきて急に定年の二文字が近づいてきた。わが四七年卒組は毎年のように同

# 同級会交流録

昭和36年卒同級会幹事 早川 弘文

我々が卒業した昭和三六年は、前年の十二月に所得倍増計画が閣議決定され、その後の高度成長時代の予感あふれる年であった。恵まれた就職環境下で、卒業生五十五名は国家・地方公務員、公共団体、機械、電機、自動車、造船、商社、銀行、証券、損保、生保、海運、報道など幅広い分野に就職し、また倉庫、運送、貿易、事務用品などの自営業を志す者もいた。海外派遣組も現れた。その後のビジネスマン人生にとってかけがえのない情報ネットワークとなったことは言うまでもなかった。

この他にも同級会開催を通じて、交友をさらに一層深めるとともに、母校あつての卒業生であり、卒業生あつての母校であることを深く認識しつつ、恩義深き母校埼玉大学の為に、卒業生として何が出来るかを考え、なすべきことを実行していくためのよすがとしていきたいと思う。

その紅顔の美青年達も、卒業して四十六年たち、齢七十(平均)に近づいた。この間悲しくも物故者五名を数え、体調不良の者もいるが、大方は年金生活にも慣れて悠々自適の生活を享受している。そのなかに樹木医となったり、保育園を経営したり、不動産鑑定士の資格取得を目指したり多士済々である。

同級会は、卒業後二年に一回開催してきたが、近年は頻度を高め

# 埼玉大写真館



東京ステーションカレッジ(授業風景)



東京ステーションカレッジ(移転前)



大久保校舎近景

# 拡充発展する経済学部学び舎

# 編集後記

今回から学生三名が編集委員に加わりました。

新たに次の二つの事を念頭に入れ、会報誌を発行致しました。

(1) 経和会が学生の就職支援並びに経済学部支援を行う事。

(2) 現役の教員・学生・卒業生等若い方から先輩の方にもご寄稿頂き、経和会は一部の古い卒業生だけのものという観念を打破し、若い方を含め多くの会員が強い関心を抱き、経和会の発展に寄与する事。

また、この度経和会会報は第一〇号の発行となりました。これも皆さんの日頃の支えに恵まれ継続した事に依存するものであり、誠に感謝致しております。経和会ではこれを期に一〇年、二〇年と継続させていきたいと考えております。